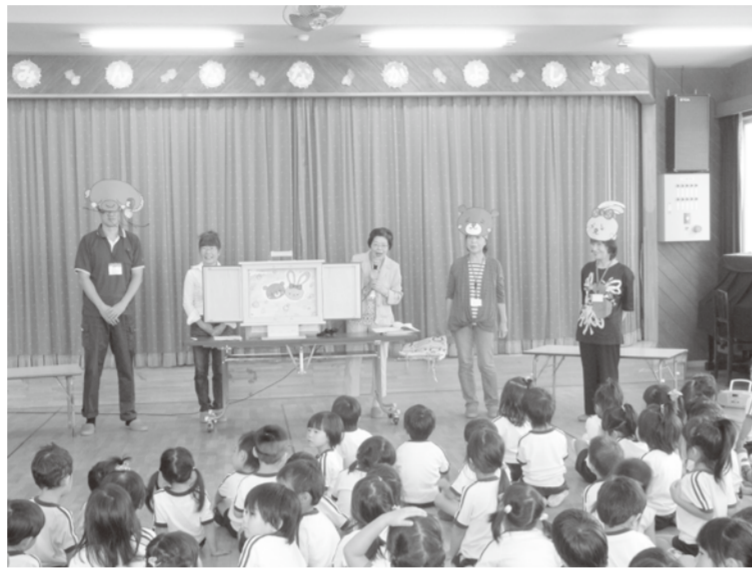




## 災害に強い地域づくりと減災をめざし子どもたちに防災教育を！

貴志川福祉防災ボランティア会は「自助」・「共助」・「公助」の3つを基本理念とし、地域住民の防災意識を高め、災害に強い地域づくり・防災を目的に福祉防災ボランティア活動を行っています。今回は同会が実施している「防災紙芝居」のデビューに密着させていただきました。



中貴志小学校でのデビューの様子

この紙芝居を通して地震の際には、まず頭など自分の体を保護し机の下にもぐる事、恐

ろい子どもたちの防災意識を高め、緊急時に活かせる知識を備えたいと、まず自分たちが

「ねぼすけなまず」の名称を「〇〇ちゃんです」という風に紹介しながら園児たちの注目をひき集中させて始まりました。

今年9月19日、紀の川市立中貴志保育所での紙芝居のデビューがおこなわれるとのことでおうかがいしてききました。



れず勇気を出して行動することなどを教えていました。

この紙芝居を見た園児たちが家庭で話すことにより保護者の防災意識も高め、緊急時に活かせる知識を備える事になると思われました。



(上) 紙芝居だけではなく枠も手作りの「ねぼすけなまず」  
(左) 同会の減災部の活動のひとつとして福祉施設で飛散防止対策フィルムを窓ガラスに貼付するボランティア活動を実施

### みんなでつくる情報板

## わかやまイベントボード

●第11回 和歌山くみあい祭  
県内の生活用品や食品など様々な組合が集結。45の事業所が出展します。  
日時 10月18日(土) 10:00～16:00  
場所 モンティグレ・ダイワロイネットホテル和歌山周辺  
内容 皮革やパイル製品、銅板レリーフなどの展示、ジェラートやスムージー、海産物加工品や和洋菓子などの模擬店など  
問い合わせ 和歌山県中小企業団体中央会 (073-431-0852)

●まちなかキャンドルイルミネーション竹燈夜  
毎年恒例。和歌山城内を竹のキャンドルが彩ります。  
日時 10月18日(土)・19日(日) 18:00～21:00  
場所 和歌山城内  
参加費 無料  
問い合わせ 竹燈夜実行委員会 (073-435-1234・和歌山市観光課内)  
備考 同日はいけばな野外アート展、クラシックやフォルクローレの演奏、クラシックバレエの披露など様々な同時開催イベントがあります。

●第11回和歌山市 NPO・ボランティアフェスタ  
和歌山市内の NPO やボランティア団体の活動発表や活動の体験コーナーが多数出展。  
日程 10月18日(土) 12:00～15:35  
場所 ぶらくり丁商店街内  
内容 和歌山市内の NPO・ボランティア団体 18 団体が出展。ステージ発表 8 団体のほか、13 団体がブースで活動紹介や体験などを実施します。  
参加費 無料 (実費等が必要なブースあり)  
問い合わせ 和歌山市市民協働推進課 (073-402-1213)

●長谷川義史のゆかいな絵本ライブ  
「わかやま絵本大賞 2013」を受賞した「おかあさんがつくったる」の著者・長谷川義史さんを迎えます。  
日時 10月26日(日) 13:30～15:00  
場所 和歌山県民文化会館小ホール  
入場料 500円(3歳以上)  
問い合わせ チケット販売場所 NPO 法人和歌山こどもの広場「わかば」(073-428-2411・みその商店街内)

このほかの情報もたくさん掲載！  
「わかやまイベントボード」URL  
PC版 <http://eventboard.shiminjuku.jp/>  
携帯電話版 <http://eventboard.shiminjuku.jp/m/>



### 学生が調べました！ 和歌山県内の NPO 法人の状況

今年8月から9月にかけて、和歌山県 NPO サポートセンターに2名のインターンの学生がやってきてくれました。県内の NPO 法人の概況を公開データをもとにまとめてくれました。今回は、そのなかで和歌山県内の NPO 法人の分布について取り上げます。

左の地図は、県内に存在しているおおよそ370の NPO 法人の「主たる事務所」の所在地を市町村別に集計し、和歌山県市町村課が公表している市町村ごとの人口データをもとに「人口1万人あたりの NPO 法人数」を割り出したものです。

今年の1位も昨年と変わらず北山村。人口約5000人の村ですので、1つ NPO 法人があるだけで突出して数値が高くなっています。

ここにかけて大きく伸びているのは新宮市、由良町、すさみ町、那智勝浦町など、人口が減少傾向にある自治体。地域の課題解決に対する意識をもった NPO 法人の設立が相次いでいます。特に那智勝浦町は3年前の紀伊半島大水害以降 NPO 法人の設立が急増しました。地域づくりや復興、そしてまちづくりに民間のパワーを活用しよう、という若手経営者の方が中心となった法人がいくつかできています。

現在では、NPO 法人だけではなく、一般社団法人など、比較的設立が容易な法人制度もずいぶん普及しています。そのなかで敢えて NPO 法人の設立に踏み切るという団体は、明確な目的意識や一定の見通しをもっていることが多く、今後の事業展開に注目したいところです。

なお、この地図の数値はあくまで「主たる事務所」の所在地により計算したものです。多くの NPO 法人は市町村の枠を超えて活動をしていますので、数値が低いからといってその自治体で NPO 法人の活動が低調ということではないことに留意下さい。

来年はこの傾向がどうなるか、今から楽しみです。  
(志場久起)